



李晓光

张秀敏

等编著

日文报刊选读



上海大学出版社

上海大学重点教材建设项目

日文报刊选读

李晓光 张秀敏 等编著

上海大学出版社

· 上海 ·

图书在版编目(CIP)数据

日文报刊选读/李晓光 张秀敏等编著. —上
海: 上海大学出版社, 2014. 5
ISBN 978 - 7 - 5671 - 1265 - 0 / H · 291
I. ①日… II. ①李… ②张… III. ①日语—阅读教
学—教材 IV. ①H369. 4
中国版本图书馆 CIP 数据核字(2014)第 077942 号

责任编辑 钟 瑾 封面设计 杨 宇

日文报刊选读

李晓光 张秀敏 等编著

上海大学出版社出版发行

(上海市上大路 99 号 邮政编码 200444)

(<http://www.shangdapress.com> 发行热线 021-66135112)

出版人: 郭纯生

*

南京展望文化发展有限公司排版

上海华业装璜印刷厂印刷 各地新华书店经销

开本 890×1240 1/32 印张 10.25 字数 257 千字

2014 年 5 月第 1 版 2014 年 5 月第 1 次印刷

ISBN 978 - 7 - 5671 - 1265 - 0 / H · 291 定价: 28.00 元

前 言

作为高等院校日语专业高年级的必修课程，“日文报刊选读”越来越受到关注。此课程能使学生广泛深入地了解日本社会、经济、政治、文化等领域的现状，及时把握日语新语和流行语的发展趋势，是学生间接接触日本社会、拓展和提升日语综合能力的良好途径。

本教材以内容新颖丰富、题材生动有趣、链接自然贴切为特色，教学形式为教师引导、师生互动、学生自主相结合。教材选文涵盖日本权威性报纸杂志的新闻、社论、专栏等阅读价值高、影响力强的文章，并提供学生自主学习的链接文章，同时附有相关精彩图片。

配合该课程分两个学期共 20 周时间进行讲授的特点，本教材共收录 40 篇文章，课上讲授 20 篇，另外 20 篇供学生课后阅读，即每次课上教师讲授 1 篇，学生课下自学 1 篇。每篇文章由正文、单词、思考问题、链接文章组成。建议该课程讲授方法采取师生互动、学生协作交流的方式，课上由任课教师主讲，示范性地指导学生深度阅读、深入分析、深层扩展。学生课下作业采取分组阅读并发表的形式，自由选择发表内容，有针对性地剖析文章及其文化背景，阐发独到见解，并通过提问、讨论等互动环节进行更深入的

探讨。

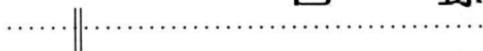
本教材为上海大学重点教材建设项目,编者为项目组的4位成员:上海大学外国语学院日语系副教授李晓光、董永杰、张秀敏和讲师韩璐璐。其中,李晓光为项目主要负责人和教材主要编者。在本教材编写过程中,得到了上海大学外国语学院教务主任杨光鑫老师以及日语系研究生刘岚、韩璐、彭少君同学的热心支持,在此表示由衷的感谢。

鉴于编者能力所限,本教材可能存在诸多不足之处,敬请各位同仁不吝赐教。

编 者

2014年3月

目 錄



社会文化篇(一)

第 1 課	新年行事特集	3
第 2 課	成人の日 苦難の時こそ好機と考えよう	13
第 3 課	自殺 3 万人切る 社会全体で取り組みを	21
第 4 課	人間国宝に坂東玉三郎さん	28
第 5 課	歴史を学ぶとは 悲しみ感じるための旅へ	35
第 6 課	東大秋入学構想 問題提起は時期尚早だったか	
		44
第 7 課	世界文化遺産 古道で富士山文化の継承を	50
第 8 課	訪日外国人を増やす 活力と平和のためにも	56
第 9 課	原爆の日「核兵器は絶対悪」広島市長が平和宣言	
		64
第 10 課	生徒の「心」、評価対象 道徳、教科に格上げ案	71

政 治 経 済 篇

第 11 課	エアコン特需 各社増産、過去最高更新も	81
第 12 課	消費増税 97 年の教訓 税率 $3\% \rightarrow 5\%$	90

第 13 課	学生たちの「全身就活」 大企業 50 社空振り、 私って?	100
第 14 課	珠算が無形文化遺産に 世界最古の計算機	108
第 15 課	「お金=幸福」という方程式は成り立つか	115
第 16 課	霧の記憶	122
第 17 課	学校の運動部はすべて廃止したらどうだろう	128
第 18 課	子供に持たせる? 持たせない? ドコモのジュ ニア向けスマホ	135
第 19 課	中国のネットで「学校給食」が話題に 「日本を手本に」	142
第 20 課	加藤紘一日中友好協会会长「日中関係改善に尽力」	151

社会文化篇(二)

第 21 課	長寿社会 安心して老いるためには	163
第 22 課	乱れた食生活改善なるか 九州大学「自炊塾」 の成果は	171
第 23 課	ネット依存一次代のリスクに対策を	179
第 24 課	食の安全は確保できたか	188
第 25 課	クールジャパンは自由と多様性で	196
第 26 課	いじめ防止法案が成立 防止策や迅速調査、 学校の義務に	204
第 27 課	「はだしのゲン」閲覧制限、松江市教委が撤回	212
第 28 課	「誰得?」意識の「払わない男」が増殖中	219
第 29 課	高倉健「哀しさ演じたい」6 年ぶり出演「あなたへ」	228

- 第 30 課 無形文化遺産—和食の真価は何か 237

生 活 娱 樂 篇

- | | | |
|--------|-------------------------------------|-----|
| 第 31 課 | 20 年東京五輪：歓迎の一方、疑問の声も…震災
被災地 | 249 |
| 第 32 課 | 「初音ミク」ら「ポーカロイド歌謡祭」、6 日深夜
にフジ | 258 |
| 第 33 課 | [ONE PIECE]ヒットの理由は悪魔の実? | 265 |
| 第 34 課 | 瑛太、「最高の離婚」に強い愛着「もう1クールやつ
てもいい」 | 275 |
| 第 35 課 | 宝塚歌劇団、来年 100 周年 宝塚 BOYS 再演
..... | 283 |
| 第 36 課 | 織田信長作品が注目を集める背景に 強いり
ーダーを求める傾向 | 288 |
| 第 37 課 | まりこ様卒業「生まれ変わっても AKB」 | 294 |
| 第 38 課 | 【2013 新語・流行語】年間大賞は史上最多 4つ
..... | 301 |
| 第 39 課 | 錦戸亮 & 堀北真希がアニメに！「県庁おもてなし
課」本編に登場 | 307 |
| 第 40 課 | 八重の桜 | 313 |

社会文化篇(一)

- 第1課 新年行事特集
- 第2課 成人の日 苦難の時こそ好機と考えよう
- 第3課 自殺3万人切る 社会全体で取り組みを
- 第4課 人間国宝に坂東玉三郎さん
- 第5課 歴史を学ぶとは 悲しみ感じるための旅へ
- 第6課 東大秋入学構想 問題提起は時期尚早だったか
- 第7課 世界文化遺産 古道で富士山文化の継承を
- 第8課 訪日外国人を増やす 活力と平和のためにも
- 第9課 原爆の日「核兵器は絶対悪」広島市長が平和宣言
- 第10課 生徒の「心」、評価対象 道徳、教科に格上げ案

第1課

新年行事特集

一、京都 北野天満宮で書き初め

学問の神様、菅原道真をまつる京都の北野天満宮で、新春恒例の書き初めが行われました。菅原道真は書道の達人としても知られ、道真をまつる京都市上京区の北野天満宮では、毎年1月2日から書き初めをしています。2日は小雨が降るなか、4歳から80歳までの幅広い世代の人が訪れ、筆をとりました。参加した人々は、ことしのえとの「辰」にちなんだ言葉や、「合格」、それに「希望」や「絆」といった震災からの復興への願いを込めたものなど、ひと文字ひと文字、丁寧に書いていました。兵庫県から来たという80歳の女性は、「元気に長生きしたい」という思いを込



めて書きました」と話していました。北野天満宮の書き初めは4日まで行われ、3日間で合わせておよそ2000人が参加する見込みだということです。

2012年1月2日 NHKニュース報道

二、熊本城本丸御殿で能の初謡

熊本市にある熊本城の本丸御殿で、能の初謡が行われ、優雅な舞いが披露されました。能を披露したのは、400年以上にわたって熊本で能を受け継いでいる「金春松融会」の会員16人です。熊本城の本丸御殿で披露されたのは、「清経」という演目で、無益な戦いへの疑問などから、みずから死を選んだと言われる平清経が、妻の夢の中に現れたときの様子が演じられました。会場には、200人余りの観客が訪れ、ゆっくりとした厳かな舞いに見入っていました。長崎県から訪れた69歳の女性は「初めて能を見ましたが、厳かでいいなと思いました。こういうものをしっかりと残していってほしいです」と話していました。

2012年1月3日 NHKニュース報道

三、華道・池坊「初生け式」

京都の華道の家元「池坊」で「初生け式」が行われ、晴れ着姿の門下生たちが花を生けて腕前の上達を願いました。全国各地から5歳から96歳までのおよそ1500人が集まり、年初めの作品を仕上げたということです。

初生け式は「池坊」で室町時代から続くとされる伝統行事で、5



日は、振り袖姿の女性やはかま姿の男性など50人が、華道発祥の地とされる京都市中京区の六角堂にお参りをしました。参拝のあと門下生たちは、隣にある道場で一列に並び、松や梅、バラなどを使って高さや形を吟味しながらことし初めての作品を仕上げていきました。道場では、次期家元の池坊由紀さんが作品を見て回ってアドバイスをしたあと、みずからも「夜明け」というテーマで若松と白梅などを生けました。初めて参加した京都市の小学6年生、島津遙子さんは「いつもと違う雰囲気の中で、緊張しましたがよくできたと思います」と話していました。初生け式には、全国各地から5歳から96歳までのおよそ1500人が集まり、別の会場で腕前の上達を願って年初めの作品を仕上げたということです。

2012年1月5日 NHKニュース報道

四、大相撲初場所初日 満員御礼

大相撲は東京・両国の国技館で、初場所が初日を迎え、満員御礼の垂れ幕が出る好調な客足のなか、一連の不祥事からの立て直しの1年が始まりました。

大相撲は八百長問題など不祥事がここ数年続いて、深刻な客離れが懸案となっています。初場所の初日を迎えた国技館では、午前8時の開門前から当日券を買い求めるおよそ200人が列を作るなど、入場者の出足が好調で、去年の初場所以来となる初日での満員御礼の垂れ幕が出ました。日本相撲協会は、琴奨菊と稀勢の里の2場所続いた大関昇進で1年半ぶりに2人となった日本人大関への期待や、去年から始めたチケットの販売方法の改善などが、客の入りにつながったとみています。観戦にやってきた人たちからは、「日本人力士の優勝が見たい」とか、「大関勢に1つ上の横綱を狙ってほしい」など、平成18年の初場所以来、遠ざかっている日本人力士の優勝や、新たな横綱の誕生への期待の声が聞かれました。ことを八百長問題など一連の不祥事からの立て直しの1年とする相撲協会は、「土俵の充実」を柱の一つに信頼回復を目指します。初場所の初日が満員御礼となつたことについて、日本相撲協会の放駒理事長は、「観客の出足も早く、中入り前の協会あいさつのときの大きな拍手と声援から、新大関の稀勢の里などへの期待感があると感じた。最後まで優勝戦線に残って、場所を盛り上げてほしい」と話し、客の入りを左右する日本人大関たちの活躍に期待していました。

2012年1月8日 NHKニュース報道

五、築地市場 新春恒例のマグロ初競り

水産物の取扱量が全国で最も多い東京の築地市場で5日朝、新春恒例の初競りが行われ、注目された青森県の大間沖で取れたクロマグロは、去年記録した1億5000万円余りの過去最高値を大幅に下回り、1本当たりの最高値は736万円で落札されま



した。

東京・中央区の築地市場では5日朝、初競りが行われ、卸売業者の代表が「ことしは消費税の影響を注意深く見守る必要はあるが、順調な商いができるることを期待したい」と述べて商売繁盛を祈る手締めをし、午前5時半すぎから早速マグロの初競りが始まりました。

ことしは全国各地の港や海外から1700本余りのマグロが集められ、冷凍マグロと生鮮マグロに分けて競りが行われ、卸売業者の威勢のよい掛け声に合わせて次々に落札されていきました。

注目された青森県の大間沖で取れたクロマグロは去年、1億5000万円余りの過去最高値をつけた業者が、ことしは230キロのクロマグロを736万円で競り落としました。ことしのマグロ1本当たりの最高値だということで、去年を大幅に下回りました。

2014年1月5日 NHKニュース報道



单語:

菅原道真(すがわらのみちざね):	【名】平安前期贵族,学者
書き初め(かきぞめ):	【名】新春试笔
達人(たつじん):	【名】(技艺,学术)的高手
えと(干支):	【名】天干地支
本丸御殿(ほんまるごてん):	【名】城堡中心宫殿
平清経(たいらのきよつね):	【人名】平安时代末期平家武将
家元(いえもと):	【名】掌门人
池坊(いけのぼう):	【名】日本插花最古老流派
晴れ着姿(はれぎすがた):	【名】盛装姿态
満員御礼(まんいんおんれい):	【名】赛场满员时打出的文字
垂れ幕(たれまく):	【名】巨幅标语,条幅
不祥事(ふしょうじ):	【名】丑闻
八百長(やおちょう):	【名】假比赛
下回る(したまわる):	【动】低于,在……以下
落札(らくさつ)する:	【动】中标
卸売業者(おろしうりぎょうしゃ):	【名】批发商
商い(あきない):	【名】买卖,生意
手締め(てじめ):	【名】拍手祝贺成功



思考問題:

- 「書き初め」とはどんなことですか。もし、あなたが書くとしたら、何を書きたいですか。
- 「能」の源を調べて、「歌舞伎」との区別を説明してください。

3. 「初生け式」はいつから、どのようにやってきたのですか。紹介してください。
4. 観客はなぜ「日本人力士の優勝が見たい」と言ったのですか。相撲界の不祥事「八百長問題」とは、どんなものでしょうか。

関連リンク1:

皇居で「講書始」

天皇皇后両陛下が年の初めにさまざまな分野の研究者から講義を受けられる「講書始」が、皇居で行われました。



「講書始」は午前 10 時半から皇居宮殿の「松の間」で行われ、両陛下は、皇族方や学術関係者などと共に、3 人の研究者から講義を受けられました。はじめに京都国立博物館の佐々木丞平館長は、日本の城や寺で見られる、金箔を張り巡らした障壁画は、キリスト教の「聖像画」の影響で生まれたのではないかと指摘し、日本文化は海外の文化を広く取り入れながら築き上げられてきたと説明しました。

東京大学の石井紫郎名誉教授が、「太平記」と「難太平記」という2つの書物が、後の日本の歴史書に与えた影響について説明し